

近畿本部（登録）防災研究会
第3回「防災講演会」のご案内
テーマ：頻発する豪雨と土砂災害

近畿本部（登録）防災研究会の防災講演会を以下のとおり開催いたします。防災に関わる問題は、全ての技術部門の技術士にとって重要なテーマのひとつです。多くの方々のご参加をよろしくお願い致します。なお、まだ技術士会に入会していない方や一般の方も参加することができます。

記

日 時 : 平成 27 年 2 月 26 日 (木) 19:00~20:00
場 所 : 日本技術士会近畿本部会議室
内 容 : 「頻発する豪雨と土砂災害」
講 師 : 株式会社気象工学研究所 大藤明克氏
参 加 費 : 500 円 (防災研究会会員は無料)
懇 親 会 : 講演会終了後、会場の近くで開催 (会費 3,000 円程度)
申込み期限 : 平成 27 年 2 月 23 日 (月)

近畿本部（登録）防災研究会 第3回「防災講演会」参加申込書

平成 27 年 月 日

氏 名		防災研究会 (会員、非会員)
懇 親 会	参加する	参加しない

防災研究会の会員以外
の方は以下も記載して
下さい。

技術士部門		技術士会 (会員、非会員)
勤 務 先		
電話番号		
FAX 番号		
メールアドレス		

【申込み先】公益社団法人日本技術士会近畿本部（登録）防災研究会

E-mail : minamigawa@etude.ocn.ne.jp

FAX : 072-242-7179 (担当幹事：南側晃一)

第3回「防災講演会」

—頻発する豪雨と土砂災害—

株式会社気象工学研究所 大藤明克

博士（工学）、技術士（建設、応用理学、総合技術監理部門）、気象予報士

【略歴】

1978年（財）日本気象協会入社、2005年（財）日本気象協会退職、2006年（株）気象工学研究所入社。現在に至る。元大阪大学工学部非常勤講師、元MBS気象キャスター、現在、公益社団法人日本雪氷学会理事、公益社団法人日本技術士会近畿本部防災研究会幹事。



【講演概要】

近年、極端に大きい短時間雨量や総雨量をもたらす事例が頻発しており、これまでの観測記録を更新する地点が多くなっている。2013年は、沖縄から北海道まで全国の130地点を超える気象庁の雨量観測点で観測史上1位の時間雨量を更新する豪雨があり、特に、短時間の豪雨の発生回数が増加してきている。このような豪雨発生回数の増加に伴い、大規模な土砂災害が全国的に頻発している。ここ2年をみても、平成25年10月東京都大島町（死者・行方不明者43名[※]）、平成26年8月兵庫県丹波市（死者1名[※]）、広島市（死者74名[※]）など、豪雨による大規模な土砂災害が相次いで発生している。これら最近の豪雨に伴う土砂災害発生事例を参照しながら、以下の項目について概説し、現状の課題をまとめ、今後の減災への取組みについてソフト面から考察を行う。

[※]：消防庁資料より

- ①土砂災害の実態
- ②土砂災害をもたらした豪雨の特徴
- ③土砂災害予測情報（土砂災害警戒情報に関する考え方等）
- ④土砂災害予測情報の課題
- ⑤減災への取り組み

上記②については、突発的に発生する集中豪雨、局地的大雨（ゲリラ豪雨）を中心に説明を行う。

以 上